

総合的な学習の時間の指導計画

目指す子供像「常南のこころをもち、力いっぱい活動できる子」

常南のこころとは

・学区を誇りに思う ・友や学区の人を大切にすること ・学区の自然や伝統を守り抜こうとする ・学区のよさを発信する

各学年の概要		3年	4年	5年	6年	
系統性	「郷土」「環境」をキーワードに、3・4年は地域への広がり、5・6年は過去や未来への広がりをもたせた学習である。	自然を見つめる	環境保全とエコ	伝統を伝える	地域の伝統を受け継ぐ	
過程	探究の過程 育てたい力・心	「ときなんの鳥調べ」 (4月から2月)	「私たちの生活と環境問題」 (4月から2月)	「米作り」 (4月から2月)	大きく育てときなんの自然薯 (4月から2月)	
時間	「岡崎市環境学習プログラム」は15時間程度の実施。教科の時間も利用できる	35時間(環境含む)	35時間(環境含む)	70時間(環境含む)	70時間(環境含む)	
感じる力・心	<ul style="list-style-type: none"> ■課題の設定(体験的な活動を通して課題意識をもつ) 	<ul style="list-style-type: none"> 問題発見能力 課題設定能力 感動する心 驚きや疑問を感じる心 	<ul style="list-style-type: none"> 「常南にいる、生き物を見つけよう」 生き物調べ 「命の繋がり」 家系図を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 中央クリーンセンター、男川浄水場見学 上下水道出前授業 環境問題と公害 世界の環境問題調べ 	<ul style="list-style-type: none"> 「お米作りプロジェクト」 全校田植え 田んぼの観察 稲刈り・脱穀もみすり 	<ul style="list-style-type: none"> 自然薯栽培を知ろう 地域の農家の人に話を聞く。
追究する力・心	<ul style="list-style-type: none"> ■情報の収集(必要な情報を取り出したり、収集したりする) ■整理・分析(取り出した情報を整理したり分析したりして考察する) 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決能力 思考力・判断力 情報収集能力 情報活用能力 情報分析能力 意思決定力 協働する力 	<ul style="list-style-type: none"> バードウォッチング 学区に出かけて、鳥の観察 「講師の先生から、鳥について教えてもらったよ」 「ぼく・わたしの鳥を決めて調べよう」 	<ul style="list-style-type: none"> 見学で学んだことについて話し合う 本や資料、インターネットを使って、環境問題やエコについて調べる 	<ul style="list-style-type: none"> 「地域の方から田植の仕方や稲刈りを教えてもらい、パンフレットやインターネットでも米作りについて調べたよ」 	<ul style="list-style-type: none"> 自然薯栽培適した土育て方観察
表す力・心	<ul style="list-style-type: none"> ■まとめ・表現(気づきや発見、自分の考えをまとめ、判断し、表現する) 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション能力 プレゼンテーション能力 表現力、実践力 メタ認知能力 感謝する心 自信と自尊心(自己肯定感) 	<ul style="list-style-type: none"> 総合発表会 「一人一羽しらべることにしたよ」 「まとめは、絵や写真を使ってまとめてみたよ」 「みんなで発表し合ったよ」 	<ul style="list-style-type: none"> 総合発表会 「調べたことを新聞やポスターにして伝えよう」 「エコな活動を家庭にも広げよう」 	<ul style="list-style-type: none"> 総合発表会 「今、米作りは機械でやっているけど、昔は全部手作業でやっていたんだ」 「自分たちで作ったお米を大切にしたい」 	<ul style="list-style-type: none"> 自然薯栽培を終えて、自然薯ができるまでを発表しよう。 総合発表会 地域・保護者の前で発表しよう。
岡崎市環境学習プログラムの実施 その他の活動		「岡崎市環境学習プログラム」は、いきもの調査と関連させて1学期に実施することがよい。温度計の使い方を1学期に学習するようにすると扱いやすい。	「岡崎市環境学習プログラム」は、社会科と関連させて九月から実施。3Rを学んで、クリーンセンター、浄水場の見学に行く。	「岡崎市環境学習プログラム」は、1学期に実施。米作りを通してネイチャーテクノロジーに触れ、伝統芸能にも結び付けられるとよい。	「岡崎市環境学習プログラム」は、環境問題を「食」の面から考え、地産地消やフードマイレージを学ぶ。オリジナルメニュー作りなど結びつけるとよい	

<実施上の留意事項>

<評価>

- 自己評価カード
- 相互評価
- 他者評価(保護者の評価)
- 日記
- 活動のようす

<人・地域のつながり>

- 地域の教材化
- ゲストティーチャーの活用
- 保護者の協力
- 連携や交流 常磐保育園等
- 家庭・地域への発信

<教材のつながり>

- 3年理科「しぜんのかんさつ」との関連
- 4年社会「ごみのしよ理と利用」との関連
- 5年社会「米作りのさかんな地域」との関連
- 書写の「生活に広げよう」を活用した表現
- 道徳や特別活動との連携
- ESDカレンダーの活用

<態度のつながり>

- 日常の学校生活へつなげる
- 家庭での活動につなげる
- 自分の生き方を見つめる
- 地域の活動に広げる
- 観察会・ボランティア活動等に参加する